

同和問題は基本的人権にかかわる課題です。1人ひとりにかかわりのある深い問題として理解を深めましょう。

市では、人権・同和問題に関する啓発活動のために、2007年8月に市民の皆さんに人権・同和問題意識調査を実施しました。調査結果について概要をお知らせします。

また本調査の概要版(ダイジェスト版)は、市のホームページ(<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>)をご覧ください。

## 【差別はどんなときに?】

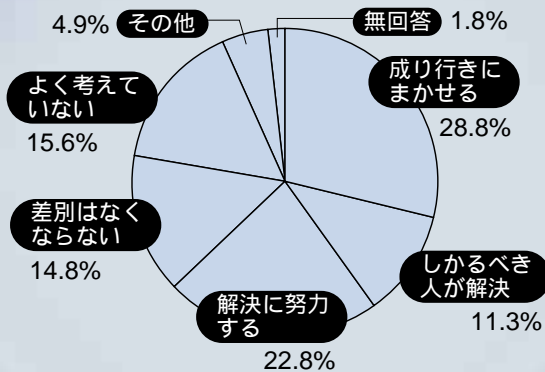
同和地区の人たちは、どんなときに差別を受けていると思いますか。次の中から3つ選んでください。

結婚に際して	87.8%
近隣のつきあいの中で	60.7%
進学・就職に際して	39.5%
友人・知人とのつきあいの中で	35.2%
仕事上のつきあいの中で	24.9%
学校生活の中で	8.6%
その他	4.9%
無回答	3.9%

日常生活の上で現れる部落差別の状況について、結婚や就職といった人生の大切な節目や近隣や友人・知人とのつきあいといった、日常生活での部落差別の存在が伺えます。

## 【同和問題解決に向けて、あなたなら?】

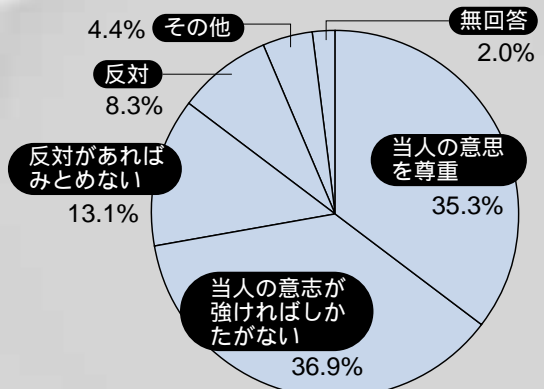
同和問題の解決に対するあなたの態度はいかがですか。次の中から1つ選んでください。



同和問題をはじめとする人権問題の解決のためには、他人事ではなく私たち自身の問題であるとの認識と解決に向けた行動力が必要です。

## 【結婚に対して、あなたなら?】

仮にあなたの家族の中で、結婚しようとする相手が同和地区の人である場合、あなたはどうしますか。次の中から1つ選んでください。



偏見や迷信にとらわれず、だれもが愛する人と結婚ができるまちづくりの実現に向けて、人権・同和問題の正しい理解を深めていきましょう。



人KENまもる君

# あなたの周りにおける「差別」 ははっきりと「駄目!」「NO!」 と言える勇気を持とう

8月は「同和問題啓発強調月間」です!

## 【守られていますか? 基本的人権】

基本的人権は侵すことの出来ない永久の権利として、憲法で保障されていますが、あなたは、今の社会でこのことが守られていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

かなり守られている	48.2%
あまり守られていない	31.6%
わからない	11.6%
完全に守られている	4.3%
まったく守られていない	2.6%
無回答	1.7%

かけがえのない人生を幸せに生きるために、自分や他人の人権が大切にされる社会になるよう、お互いが努力しましょう。

## 【何に関心がありますか?】

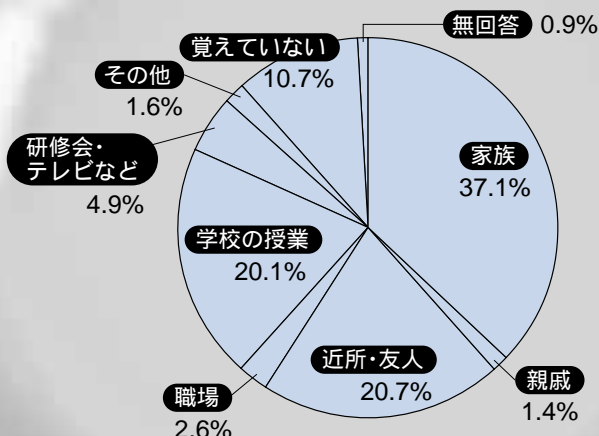
日本の社会には、基本的人権に関わるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心のあるものを3つ選んでください。

子どもに対するいじめ・虐待などの問題	70.3%
障害者やその家族に対する差別の問題	47.0%
同和地区の人に対する差別の問題	34.8%
高齢者に対する差別の問題	29.7%
女性に対する差別の問題	28.4%
HIV感染者やハンセン病入所者等の人に対する差別の問題	24.0%
刑を終えて出所した人に対する差別の問題	19.5%
在日外国人に対する差別の問題	11.4%
特に関心がない	9.4%
その他	2.3%
無回答	1.6%
アイヌの人に対する差別の問題	1.4%

私たちは、日常生活の中でさまざまな人権問題と関わりながら生活をしています。人権問題は、私たち1人ひとりの問題です。日ごろからさまざまな人権問題に関心を持ちましょう。

## 【どのようにして知りましたか?】

あなたは、同和地区や人権・同和問題をはじめで知ったきっかけは何からですか。次の中から1つ選んでください。



根拠のない噂や言い伝えなどは心理的差別の原因となります。人権・同和問題について正しい認識に努めましょう。



人KEN あゆみちゃん

